

《眼科臨床エキスパート》 所見から考えるぶどう膜炎

吉村長久, 後藤 浩, 谷原秀信, 天野史郎 シリーズ編集 園田康平, 後藤 浩 編

眼免疫に詳しい園田康平教授, 眼病理に詳しい後藤浩教授の編集の下, 第一線で活躍するエキスパートの先生方のご執筆でまとめられた本書は「専門外であっても最新の知識のアップデートを容易にし, 明日からすぐ診療に役立つ内容を」との目的で発刊された。

眼科の強みは「見てわかる」ことである。しかしぶどう膜炎患者においては, それぞれの所見が原因疾患の同定に直接結び付くわけではないのが難しいところである。疾病背景には自己免疫疾患, 感染症, 血液疾患, 悪性腫瘍など, 全身異常が関与していることが多いが, 初診時に全身検査を行うことは臨床の現場では難しいのが実情である。それ故, 診断が難しい。また軽症と思って加療していたら突然悪化することも少なくなく, 放置すれば中途失明する疾患も数多い。さらに再発の可能性が高い慢性病でもあることから, ぶどう膜炎は眼科医泣かせの疾患といえる。

本書ではこうした悩みを解決すべく, 写真素材を多く取り入れてわかりやすくまとめられている。画像写真をふんだんに盛り込み, 実際に目に見えるぶどう膜炎の眼所見の特徴や特性を解説。そこから導き出せる可能性と診療に対する考え方をロジカルに示してくれ

ている。

本書は総説, 総論, 各論の3部からなる。瑠璃色にカラー化された目次は目にやさしく, 引き込まれる雰囲気だ。総説, 総論ではぶどう膜炎の基礎知識を解説。各論では疾患を細かく分類し, 丁寧に説明するとともに診療のポイントが効率よく整理されている。疾患の特徴, 眼所見の特徴, 続発症・合併症, 画像検査, 眼外症状, 診断と鑑別診断, 予後など, 臨床の第一線で活躍されている先生方によって執筆されたその内容は最前線のものだ。診療の実践ですぐに役立つ知識が凝縮され, 専門医にとってはブラッシュアップに活用することもできるだろう。検査器具, 手術器具, 薬剤, 各種レーザー治療など医療を取り巻く環境は日々目覚ましい進歩を遂げている。患者に最善かつ最新の眼科医療を提供するために, 診療時に手元に置いておきたい一冊である。

二本松眼科病院病院長 宇多重員

B5 頁 308 2013 年

定価: 本体 15,000 円 + 税

[ISBN978-4-260-01738-1] 医学書院刊